

はじめに

この度は、携帯電話S31HT（以下、本機）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書（以下、本書）をよくお読みいただき、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。不明な点がございましたら、お問い合わせ先（P.321）にご連絡ください。

ご利用いただくにあたって

- 本機はイー・モバイルの提供するサービスエリアおよび国際ローミングのサービスエリアにおいてご使用になれます。
This product can be used in the coverage that EMOBILE offers and the coverage of the international roaming.
- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本機は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本機は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- EM chip（USIMカード）を取り付けていない状態では一部使用できない機能があります。
- 他社のICカードを本機に挿入した場合、お客さまの責任となり、当社は一切の責任を負いません。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使い方を誤ったときや静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは登録している情報が消失するおそれがありますが、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に登録した情報は必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

本書の使い方

操作手順の表記について

項目選択

以下の例のように選択する項目名やタブ名、アイコンの名称などは太字で示しています。

<例>

1.  > **[連絡先]** > **[連絡先の追加]** をタップします。



反転表示

以下の例のようにオプティカルジョイスティックを使用して対象の項目にカーソルを合わせる場合は、「反転表示」と表記しています。

連絡先を反転表示します。

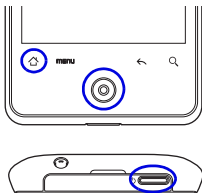
ボタン

以下の例のように名称で説明しています。(各部の名称はP.40～46で説明)

ホームボタンを押します。

オプティカルジョイスティックを押します。

電源ボタンを長押しします。



目次

はじめに	1
本書の使い方	2
主な機能	9
安全上のご注意	10
ご使用の前に	10
本体の取り扱いについて	11
電池パックの取り扱いについて	17
AC アダプタの取り扱いについて	20
EM chip (USIM カード) の取り扱いについて	22
USB ケーブルの取り扱いについて	24
イヤホンマイクの取り扱いについて	26
ご使用上のお願い	28
免責事項	32
著作権に関するお願い	32
商標について	33
Bluetooth およびワイヤレス LAN に関するご注意	34
ワイヤレス LAN 利用時のセキュリティに関するご注意	37

第 1 章 ご利用になる前に 39

1.1	本機とアクセサリについて	40
1.2	EM chip (USIM カード) について	48
1.3	電池パックについて	52
1.4	microSD カードについて	54
1.5	起動する	56
1.6	マナーモード	61
1.7	本機の操作方法について	62

1.8	ホーム画面について	67
1.9	ステータスバーについて	70
1.10	ボリュームの調整	73
1.11	パソコンとつなぐ	75
1.12	イヤホンマイクについて	77

第2章 個人設定 79

2.1	個人設定	80
2.2	シーンを切り替える	81
2.3	壁紙を変更する	84
2.4	ホーム画面をカスタマイズする	85

第3章 電話機能の使い方 87

3.1	電話を使う	88
3.2	電話をかける	90
3.3	電話を受ける	94
3.4	スマートダイヤル	96
3.5	海外で電話をかける	98

第4章 連絡先 99

4.1	連絡先の管理	100
4.2	連絡先情報を共有する	109
4.3	連絡先グループを使う	111

第5章 情報の入力 113

5.1	情報を入力する	114
5.2	タッチ入力設定を変更する	119

第 10 章 時計と天気情報 177

- 10.1 HTC クロック..... 178
- 10.2 天気情報..... 181

第 11 章 インターネット 183

- 11.1 インターネットに接続する..... 184
- 11.2 ワイヤレス LAN..... 185
- 11.3 3G パケット通信..... 188
- 11.4 VPN に接続する..... 190
- 11.5 ブラウザを使う..... 192
- 11.6 USB テザリング機能を使う..... 200
- 11.7 Wi-Fi Hotspot (Wi-Fi テザリング)..... 201

第 12 章 Bluetooth 205

- 12.1 Bluetooth のモード..... 206
- 12.2 Bluetooth 対応機器と接続する..... 208

第 13 章 カメラ 211

- 13.1 カメラを使う..... 212
- 13.2 ズームを使う..... 215
- 13.3 カメラの設定..... 218

第 14 章 静止画／動画の利用 221

- 14.1 アルバム..... 222
- 14.2 SNS 上の静止画を見る..... 226
- 14.3 静止画を加工する..... 227

14.4	静止画／動画を共有する	229
------	-------------------	-----

第 15 章 音楽 **233**

15.1	音楽を再生する	234
15.2	ライブラリを利用する	236
15.3	プレイリストを利用する	237
15.4	着信音に設定する	239

第 16 章 地図機能を利用する **241**

16.1	Google マップを利用する	242
16.2	Google プレイスを利用する	251
16.3	HTC Footprints を利用する	252

第 17 章 その他のアプリケーション **257**

17.1	YouTube	258
17.2	Adobe Reader	261
17.3	オフィス文書を見る	262
17.4	株価を見る	263
17.5	FM ラジオ	265
17.6	ボイスレコーダー	267
17.7	Android マーケットの利用	269
17.8	ニュースを読む	272
17.9	検索	275

第 18 章 セキュリティ **277**

18.1	ロック機能	278
18.2	PIN コード設定	278

18.3	スクリーンロックを使う	280
------	-------------------	-----

第 19 章 本機を管理する **285**

19.1	本機で行える設定について	286
19.2	画面設定	288
19.3	着信／音設定	290
19.4	言語設定	292
19.5	電源管理	293
19.6	メモリ管理	294
19.7	オプションサービス	296
19.8	本機を保護する	300
19.9	本機をリセットする	301
19.10	端末情報を確認する	302
19.11	ソフトウェアの更新	303

付録 **305**

ローマ字→かな変換表	306
故障と思われる前に	309
仕様	311
携帯電話の比吸収率 (SAR) について	314
索引	315
保証とアフターサービスについて	320

主な機能

機能	説明	アプリケーション
電話	スピードダイヤルやスピーカーフォンなど、便利な付加機能を利用できる通話機能があります。	電話
PIM機能	本格的な電話番号管理/アドレス管理/スケジュール管理などのPIM(Personal Information Manager) 機能があります。	連絡先、カレンダー
インターネット	スマートフォン向けモバイルサイト/パソコン向けサイトなどにアクセスできます。	ブラウザ
メール	電子メールのアカウントを登録することができ、自宅や会社のメールを送受信できます。	メール
マルチメディア	マルチメディアカメラで静止画や動画を撮影したり、楽曲や動画を再生して楽しむことができます。	カメラ、ギャラリー、ビデオプレイヤー、音楽、YouTube、FMラジオ
ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)	Facebook、Twitter、Google トークなどのSNSを利用して、最新情報をリアルタイムで取得できます。また、連絡先と連動させて、多彩なコミュニケーションを実現します。	Facebook、Friend Stream、Peep、トーク
パソコンとのデータ同期	HTC Syncを利用して、パソコンと本機との間で、PIMデータやファイルを同期することができます。	—
オフィス関連アプリケーション	Word、Excel、PowerPoint、PDFファイルの表示を行うことができます。	Quickoffice、Adobe Reader











安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。
- 以降で説明する注意事項は、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容が記載されています。よくお読みの上、記載内容を必ず厳守してください。
- 本機の故障、誤作動、不具合といった原因によって、通話や通信が困難となりお客さま、または第三者の方が損害を受けられたとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示の説明

本書では次のような絵表示をしています。内容をご理解の上、本文をお読みください。

 危険	取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険性が高い」内容を示しています。
 警告	取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性がある」内容を示しています。
 注意	取り扱いを誤った場合、「重傷を負う可能性および物損が生じる可能性がある」内容を示しています。
 禁止  分解禁止  濡れ手禁止  水濡れ禁止	してはいけないことを表しています。
 指示  プラグをコンセント に挿す	しなければならないことを表しています。
 注意	気をつける必要があることを表しています。

本体の取り扱いについて

危険



禁止

分解、改造をしないでください。
なお本機の改造は電波法違反になります。



禁止

強い日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。
発熱、発火、機器の変形、変色や故障の原因となります。また、本機が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。



濡れ手禁止

濡れた手で触らないでください。



禁止

浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。
発熱、発火、感電や故障の原因となります。



禁止

コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
液体がこぼれて濡れると、感電、発熱、故障の原因となります。



禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱、発火、破裂、故障、本人や他の人のけがの原因となります。

警告



指示

必ず専用の機器をご使用ください。指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。



禁止

車両の運転中に本機を使用しないでください。交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。



航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電源を切り、本機の使用を控えてください。
電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。



指示

医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。

- ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本機を持ち込まないでください。
- ・病棟内では電源を切り、本機を使用しないでください。
- ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電源を切り、本機を使用しないでください。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- ・自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- ・高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

※影響を受けるおそれがある機器の例：

心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。心臓ペースメーカーやその他医用電気機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売業者にご相談ください。



指示

本体について、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

- ・電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れしないでください。
- ・ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では使用しないでください。
- ・本体に無理な力を加えないでください。



禁止

すき間から異物を入れないでください。

万一、異物(金属片・水・液体)が製品の内部に入った場合は、まずACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先(P.321)にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



指示

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態には、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外してください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。煙が出なくなったことを確認してお問い合わせ先 (P.321) へご連絡ください。



指示

落雷のおそれがあるときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、電源を切ってください。落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。

注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないください。

落下して、けがや故障の原因となります。



禁止

自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。

安全走行を損なうおそれがあります。



注意

長時間の連続使用などで本機が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。



指示

故障の原因となりますので、ほこりや湿気の少ない場所に保管してください。



皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。本機は以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。

使用箇所	素材	表面処理
本体（正面）	ガラス	—
本体（背面）	ポリカーボネート	塗装
オプティカル ジョイスティック	アルミニウム	埋め込み型
カメラプレート	メタル	—
電池パック端子	銅	金メッキ
外部接続端子	銅合金	金メッキ
ネジ	鉄	—
イヤホンケーブル	ゴム/ステンレス/銅	—
ACアダプタプラグ	ポリカーボネート/ ステンレス	—
USBケーブル	ゴム/ステンレス/銅	—



小児が使用する際に、保護者が使用方法を間違えていないか確認し、正しい取り扱い方法を教えてください。間違った使用はけがの原因となる可能性がありますので十分にご注意ください。



クレジットカードなどを本機に近づけないでください。クレジットカードなどの磁気カードデータが消えるおそれがあります。



microSD カードを取り外すときは、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがカチッと音がするまでしっかりと押し込み、すぐに指を離さないでください。microSD カードを装着しているカードスロットを顔の方に向けて、取り付けたり、取り外さないでください。急に指を離すと、カードが飛び出し危険です。

電池パックの取り扱いについて



指示

電池パック（リチウムイオン電池パック）について、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

- ・本機で使用できる電池パックは、付属の電池パック PBS31HTZ10のみです。これ以外の電池パックは使用しないでください。
- ・装着するとき、電池パックの向きが決められています。本機にうまく装着できないときは、無理をしないでください。電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
- ・充電には、付属のACアダプタPCS31HTZ10またはUSBケーブルPGS31HTZ10以外のものを使用しないでください。また、電池パックは指定機器以外の機器には使用しないでください。
- ・直射日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所に放置しないでください。
- ・釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- ・外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- ・分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
- ・水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
- ・端子をショートさせないでください。金属小物（鍵、アクセサリ、ネックレスなど）と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
- ・電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。
- ・ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では電源を切ってください。
- ・電池パックからもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。失明のおそれがあります。

警告



指示

次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。

- ・電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。
- ・濡れた手で触らないでください。
- ・コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
- ・水や海水に浸けたり、雨滴などで濡らさないでください。万一、濡れた場合には、直ちに使用をやめてください。
- ・電池パックから液がもれたり異臭がするときには、直ちに使用をやめて火気より遠ざけてください。
- ・液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
- ・充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。
- ・煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先 (P.321) にご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

注意



次のことをお守りください。

- ・小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。
- ・乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が本機から電池パックを取り出さないように注意してください。間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。



電池パック内部の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。



電池パックを本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われたときは、電池パックを本体に装着しないでお問い合わせ先(P.321)にご連絡ください。

ACアダプタの取り扱いについて

危険



指示

ACアダプタについて、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

- ・分解、改造をしないでください。
- ・火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
- ・濡らさないでください。水やペットの尿などの液体が入ると、感電、火災、故障の原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

警告



指示

本体に接続するACアダプタは、付属のPCS31HTZ10のみです。これ以外のACアダプタは使用しないでください。



指示

付属のACアダプタに使用できるUSBケーブルは、USBケーブルPGS31HTZ10のみです。これ以外のUSBケーブルを使用しないでください。



指示

付属のACアダプタはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

使用されないときには、安全のため、ACアダプタをコンセントおよび本体から外しておいてください。



指示

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合は、そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。すぐにACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.321）にご連絡ください。



禁止

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

ACアダプタ：100-240V



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れしないでください。



濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



指示

次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

- ・ ACアダプタに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- ・ ACアダプタに針金などの金属を差し込んだりしないでください。
- ・ コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。
- ・ 落雷のおそれがあるときは、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ・ 長期間使用されないときには、安全のため、ACアダプタをコンセントおよび本体から外しておいてください。

注意



ACアダプタを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。

- ・周囲温度5～35℃、湿度35～85%の範囲でご使用ください。
- ・直射日光の当たる場所で使用および放置しないでください。
- ・ほこりの多い場所に置かないでください。
- ・落下させたり衝撃を与えないでください。
- ・コードの根元部分を無理に曲げないでください。
- ・重いものを載せないでください。
- ・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- ・布などでくるまないでください。
- ・小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。
- ・乳幼児の手の届かない所に保管してください。

EM chip (USIMカード) の取り扱いについて

警告



EM chip を本機へ取り付けや取り外す際、手や指を傷つける可能性があります。また、取り付け、取り外しの際には過剰な力を加えずと故障の原因にもなりますのでご注意ください。

注意



EM chip の IC 部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要な IC 部分への接触は避けてください。



分解禁止

分解や改造はしないでください。データの消失や故障の原因となります。故障した場合、当社では一切の責任を負いかねます。



禁止

火のそばやストーブのそばなど高温の場所で使用および放置しないでください。溶解、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。



注意

本機を使用中、EM chip 自体が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありませんのでそのままご使用ください。



注意

EM chip は当社が指定した機器にてご使用ください。指定機器以外で使用した場合、データの消失や故障の原因となることがあります。なお、当該要因による不具合が発生した場合、当社では一切の責任を負いかねます。



注意

落としたり、濡らしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものを載せたりすることは、変形、破損、故障の原因となります。



注意

低温・高温・多湿・ほこりの多いところでの保管は避けてください。故障の原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理器や高圧となる容器に EM chip を入れないでください。溶損、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。



小児が使用する際に、保護者が使用方法を間違えていないか確認し、正しい取り扱い方法を教えてください。間違った使用はけがの原因となる可能性がありますので十分にご注意ください。



小児や乳幼児が誤ってEM chip を飲み込むなどの事故やけがを防止するため、EM chip は小児や乳幼児の手が届かないところに保管してください。



その他、本来の用途とかけ離れた方法での使用はデータ消失や故障の原因となりますので、ご注意ください。

USBケーブルの取り扱いについて



USBケーブルについて、次のことをお守りください。発熱、発火や感電の原因になります。

- ・分解、改造しないでください。
- ・火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
- ・濡らさないでください。水やペットの尿などの液体が入ると、感電、火災、故障の原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

警告



付属のUSBケーブルPGS31HTZ10を使用できるのは、本機のみです。これ以外の機器では使用しないでください。



次のことをお守りください。発熱、発火や感電の原因になります。

- ・電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
- ・強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- ・端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
- ・雷が鳴り出したら、USBケーブルには触れないでください。



小児が使用する場合は、保護者が本書の内容を教え、また、使用中においても、本書どおりに使用しているかどうかご注意ください。感電やけがの原因となります。



乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。故障の原因となります。



USBケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずコネクタを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。



USBケーブルのコードの上に重いものを載せたりしないでください。感電、火災の原因となります。

イヤホンマイクの取り扱いについて

危険



分解禁止

分解、改造しないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。



禁止

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

機器の変形、故障、発熱、発火の原因となります。



水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると、感電、火災、故障の原因となります。使用場所、取り扱いにはご注意ください。

警告



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に、入れないでください。

故障や火災の原因となります。



禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

故障や火災の原因となります。

注意



禁止

イヤホンマイクは、対応機種以外にはご使用にならないください。

指定の機器以外のものを接続した場合、破損の原因となります。



指示

小児が使用する場合は、保護者が本書の内容を教えてください。また、使用中においても、本書どおりに使用しているかどうかご注意ください。けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。故障の原因となります。



指示

イヤホンマイクを取り外す場合は、コードを引っ張らずコネクタを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、破損の原因となります。

ご使用上のお願い

共通

- 本機は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
- 次のような極端な温度環境での使用は避けてください。
 - 直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。
 - 冷蔵倉庫など、特に温度が下がる場所。
- エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。
 - 温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。
- 落としたり強い衝撃を与えたり曲げたりしないでください。
 - 落としたり、重いものの下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。
- 汚れたり水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
 - アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学雑巾、洗剤などを用いると外装や印刷が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。
 - 衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
- 無理な力がかかるような場所に置かないでください。
- 荷物のつまったカバンに入れるときは、重いものの下にならないようご注意ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

本体

- 使用中に本機が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。
 - そのままお使いください。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがありますのでご注意ください。

- お客さまご自身で本機に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットなどに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。またカバンの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
- 本体を直射日光の当たる所に放置しないでください。
 - 変形、変色を起こす場合があります。
- 画面は、ときどき乾いた柔らかい布で拭いて、汚れないようにしてください。
 - 汚れたまま画面をタップすると傷つくことがあります。
- 画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。
 - 画面などを傷めることがあります。
- 本体の上に書類などを載せないでください。
 - 誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
- 突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。
 - 入れ方や取り扱い方（誤って、ぶつけたり落とすなど）によっては、破損の原因となります。
- 画面の汚れを取って操作してください。
 - 汚れたまま操作すると、画面に傷がつくことがあります。
- 使用中に、強い磁石を近づけないでください。故障の原因となります。

電池パック

- 電池パックは消耗品です。使用状況などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パック単体で充電することはできません。必ず本体に取り付けた状態で充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。

- 直射日光が当たらない、風通しが良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態で本機から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

ACアダプタ

- 充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。

EM chip (USIM カード)

- IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お客さまご自身でEM chip に登録された情報は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- EM chip を本機に取り付けるときや取り外しのときに注意してください。必要以上の力をかけると、手や指を傷つけたり、EM chip の破損の原因となります。
- EM chip は当社指定のものを使用してください。指定以外のものを使用した場合、データ消失や故障の原因となります。
- IC 部は傷つけたり、ショートさせたりしないでください。故障の原因となります。
- 使用中、EM chip が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

カメラ

- カメラに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- 大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。
- お客さまが本機を利用して公衆に迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。
- 販売されている書籍や撮影の許可されていない文字情報の記録には使用しないでください。

外部接続端子／イヤホンマイク端子／カードスロット

- 外部接続端子やイヤホンマイク端子、およびmicroSDカードスロットなどにゴミやほこり・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それが入ると、故障や記録内容の消失の原因となります。
- ケーブルは強く引っ張らないでください。指定された以外の方法でケーブルを取り付けたり、取り外したりしないでください。

液晶表示

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯するものがあります。これらはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 画面のタップの操作は、指を使ってください。鉛筆やシャープペンシルなどの先のとがったものは、使わないでください。
- 画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがあります。故障ではありません。

ハンドストラップ

- ハンドストラップ取付穴には、携帯電話用などに販売されている市販のハンドストラップを取り付けることができます。ハンドストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、ハンドストラップを強く引っ張るなど、ハンドストラップ取付穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

公衆の場で使用するとき

- テレビ、ラジオ、携帯電話機など電磁波が発生するものの近くで使用しないでください。お互いに影響を受ける場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

免責事項

- 火災および地震などの災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意、または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

著作権に関するお願い

- お客さまが本機を利用して撮影したり、インターネットのWebサイトからダウンロードして取得した文章や画像、音楽、ソフトウェアといった第三者が著作権を有するコンテンツについては、著作権法上認められている私的使用目的の複製や引用を除き、著作権者に無断で複製や改変、公衆への頒布を行うことは禁止されています。
- 私的使用目的であっても、実演や興行、展示物の中には、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客さまが本機を利用して本人の同意なしに肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上など公衆で視聴できる状態にすることは、肖像権を侵害するおそれがあります。
- 本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等を行わないでください。第三者にこのような行為をさせることについても同様です。

商標について

- microSD™とそのロゴ、microSDHC™とそのロゴは、SDアソシエーションの商標です。



- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth® SIG, INCの登録商標で、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- Microsoft®, Windows®, Windows Vista®, ActiveSync®, Outlook®, Excel®およびPowerPoint®のロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- Adobe®, Acrobat®, Adobe Reader®は、米国Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。
- 本機は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされています。これは、お客さまの個人的かつ非営利目的において次のような用途に限ってライセンスされており、その他の用途については認められていません。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動において、消費者によって記録されたMPEG-4ビデオの再生
 - MPEG-LAからライセンスされた提供者によるMPEG-4ビデオの再生
 - 詳細な情報については、米国法人MPEG LA, LLCまでお問い合わせください。



- Copyright 2010 Google Inc. 使用許可取得済
Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Android マーケット、
Android マーケットロゴ、Gmail、Google Apps、Google Calendar、
Google Checkout、Google Earth、Google Latitude、Google Maps、
Google Talk、Picasa、およびYouTubeは、Google Inc.の商標です。

BluetoothおよびワイヤレスLANに関するご注意

本機の使用周波数帯は、電子レンジなどの家電製品、産業・科学・医療用機器、工場の製造ラインなどで使用される免許が必要な移動体識別構内無線局、免許を必要としない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」）が利用しています。

1. 本機を使用する前に、その周囲で「他の無線局」が利用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合、直ちに使用場所を変更するか、電源を切るなど電波干渉を解消するように対処してください。

■周波数帯域について

BluetoothおよびワイヤレスLAN搭載機器が使用している周波数帯は、本機の本体ラベルに以下の表記で記載されています。

2.4FH1/DS4/OF4

- 2.4 : 周波数2400MHz帯を使用する無線装置であることを示します。
- FH/DS/OF : 変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
- 1 : 想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- 4 : 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ■ ■ : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

- 本機のBluetooth通信機能には、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティシステムを採用していますが、設定内容によってはセキュリティが十分機能しない場合があります。Bluetoothによる通信を行うときは十分ご注意ください。
- Bluetoothを使用した通信からデータや情報が漏洩したとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機のBluetooth機能のバージョンとプロファイルは以下のとおりです。

対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.2.1 + EDR準拠 ^{※1}
出力	Bluetooth標準規格 Power Class2
対応プロファイル ^{※2}	FTP (PC間のファイル転送をするためのプロファイル) OPP (携帯電話間の電話帳などのオブジェクトを交換するためのプロファイル) A2DP (オーディオデータを伝送するためのプロファイル) PBAP (電話帳データを転送するためのプロファイル) AVRCP (オーディオ/ビデオをリモートコントロールするためのプロファイル) GAP (機器にアクセスするためのプロファイル) GOEP (ファイル転送の基礎的なプロファイル) HFP (ハンズフリー用のプロファイル) HSP (ヘッドセット用のプロファイル) SPP (PCとシリアルポート接続するためのプロファイル) SDAP (他のBluetoothデバイスを検索するためのプロファイル)

※1 本機を含めすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGの規定に基づいた適合試験によってBluetooth標準規格の認証を取得していますが、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。また、本機はDUN/PANなどの接続には対応していません。

※2 Bluetoothの通信手順(プロトコル)を製品の特性ごとに標準化したものです。

■ **良好な状態で接続できるように、以下の点にご注意ください。**

- ・他のBluetooth機器との接続は、見通し距離約10m以内で行ってください。本機と他のBluetooth機器との間に障害物があると、接続距離は短くなります。また、ご使用の環境(壁や家具など)や建物の構造によっても接続距離は短くなります。

特に、鉄筋コンクリート製の建物では、間に鉄筋が入った壁があると、上下の階や隣接する部屋どうしても接続できないことがあります。したがって上記接続距離を保証するものではないことをご了承ください。

- ・電子レンジ・AV機器・OA機器、デジタルコードレス電話機・ファックス、およびその他の電気製品からは2m以上離して接続してください。特に電子レンジによる影響を受けやすいため、必ず3m以上離してください。近くでこのような機器に電源が入っていると、正常に接続できなかったり、テレビやラジオに雑音や受信障害が発生する場合があります。特にUHFや衛星放送の特定のチャンネルでは、テレビの画像が乱れることがあります。
- ・放送局や無線機など強い電波を発するものが近くにあり、接続が困難なときは、接続先のBluetooth機器の場所を移動してください。強い電波が周囲にあるときは、正常に接続できないことがあります。

■ワイヤレスLANに関するお願い

電気製品・AV機器・OA機器といった磁気や電磁波を発している機器の近くでは使用しないでください。

- ・磁気や電磁波の影響によって通信状態が不安定になったり、接続できなくなることがあります。特に電子レンジを使用しているときは、影響を受けやすくなります。
- ・テレビやラジオが近くにあると、これらの機器に雑音や受信障害が発生する場合があります。
- ・周囲で複数のワイヤレスLANアクセスポイントが同じチャンネルを使用していると、正しく検索されない場合があります。

■ワイヤレスLANとBluetoothとの電波干渉について

Bluetooth機器とワイヤレスLAN (IEEE802.11b/g/n) は、同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。このため、ワイヤレスLAN機能を搭載した機器の近くでBluetooth通信を使用すると、電波干渉によって通信速度の低下や雑音が発生したり、接続が困難になる場合があります。以下のような方法で対処してください。

- ・Bluetoothによる無線通信を行う本機およびBluetooth機器は、ワイヤレスLANと10m以上離してください。
- ・Bluetoothによる無線通信を行う本機およびBluetooth機器を、ワイヤレスLANから10m以内で使用する場合、ワイヤレスLANの電源を切ってください。

ワイヤレスLAN 利用時のセキュリティに関するご注意

ワイヤレスLANは、LANケーブルの代わりに、電波を利用してパソコンなどのワイヤレスLAN端末とワイヤレスLANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能になるという利点があります。

その反面、電波が届く範囲内であれば、障害物（壁など）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合は、通信内容を盗み見られたり不正に侵入されたりするなどのセキュリティ上の問題が発生する可能性があります。

本機は、お買い上げ時の状態でセキュリティ機能が働くように設定されています。ただし、安全性を考慮して、お買い上げ時のセキュリティ設定を変更してお使いになることをお勧めします。セキュリティ機能の設定方法については、本書およびお使いのワイヤレスLAN端末の取扱説明書を参照してください。

- ワイヤレスLANの仕様上、特殊な方法によってセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上でお使いください。
- セキュリティ設定などについて、お客さまで対処できない場合には、お問い合わせ先（P.321）へご連絡ください。
- ワイヤレスLAN機能をご利用の際に、上記のようなセキュリティに関して発生するいかなる問題についても、当社は保証いたしかねますのでご了承ください。

